

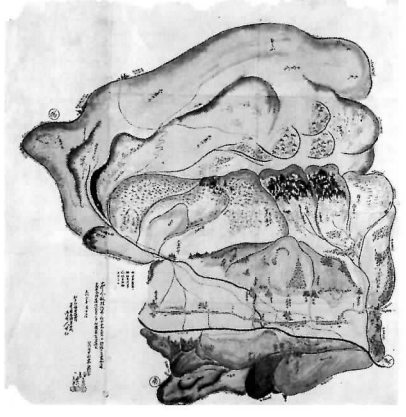
いざな  
一わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘いー  
ミュージアム都留からのお知らせ

『郡内村絵図展 ー甲州街道から富士みちへー』

甲州街道は、甲州道中とも呼ばれ、江戸幕府が整備した五街道(東海道、中山道、甲州街道、奥州街道、日光街道)のひとつです。現在は国道20号線に受け継がれていますが、新道の開通やバイパス建設などによって、道筋が変わったところも多くあります。

甲州街道の起点は、日本橋で、内藤新宿・八王子・甲府を経て、信濃国の下諏訪宿で中山道と合流します。道中に全部で45の宿場が置かれ、そのうち郡内には上野原・鶴川・野田尻・犬目・上鳥沢・下鳥沢・猿橋・駒橋・大月・上花咲・下花咲・下初狩・中初狩・白野・阿弥陀海道・黒野田の16の宿場がありました。

甲州街道は、東海道や中山道とは違って、参勤交代に使う大名は少なく、農産物や織物などを売のために江戸へ向かう農民や、富士山や身延山へ向かう参詣者、甲州や信州の特産物を運ぶ輸送業者など、一般の庶民による利用が多かったと言われています。幕末には、東海道の通行費用が上がったことや、幕府によって東海道の通行が制限されるなどしたため、甲州街道は混雑していました。



甲州道中都留郡白野宿鹿絵図  
【文化3年(1806年)】

白野村は、もとは黒野田村の一部でしたが、寛文9年(1669)の検地によって分かれて村となりました。同じ笹子川上流の黒野田村・吉ヶ久保村(阿弥陀海道宿)と合宿として、日替わりで宿場の役割を果たしていました。



甲州道中猿橋宿絵図  
【文化3年(1806年)10月】

東の江戸方向(絵図左)から延びてきた甲州街道が、猿橋を渡って西の甲府方面(絵図右手)に進んでいきます。

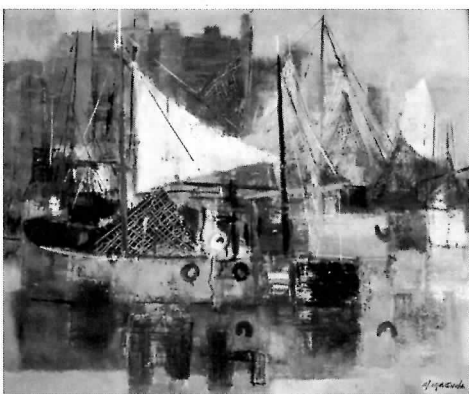
会期	5月24日(日)まで
時間	午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料	一般 300円(210円) 高・大学生 200円(140円) 小・中学生 100円(70円) ※( )内は20名以上の団体料金です。
休館日	毎週月曜日、第3火曜日、祝日の翌日

勝山城のなぞに迫る

先月行われた勝山城の見学会は大勢の方々にご参加いただき大盛況のうちに終了しました。ご参加いただきありがとうございます。今年度は4年間の調査のまとめ、報告書の作成を行う最後の年になります。広報の中でも今までの成果がまとまり次第、報告していきたいと思ひます。



《作品介绍》  
今回特別展示作品です。1960年にシエルブル・グランプリ展で受賞した際に、同時出品した作品で、都留市では、初公開となるものです。



ヴィューポール  
「Vieux Port (旧港)」  
(1950年代後半)

増田誠美術館  
増田誠画伯を偲ぶ展  
増田画伯が渡仏後に描いた作品を展示しています。今回、特別展示として初公開の作品が2点あります。ぜひ一度、美術館に足を運んではいかかでしょうか。  
会期 6月7日(日)まで  
開館時間 午前9時～午後4時30分  
会場 増田誠美術館(ふるさと会館2階)  
休館日 月曜日、第3火曜日、祝日の翌日